

## 国語【解答例】

□一

問一 ナシヨナリズム及び言語・民族・エスニシティなどが、理論の次元でも両義性、実践的な側面でも二面性を持っているというところ。

問二 ① 異文化の摂取、外国語の習得、幼時より抱いていた信仰からの改宗

② 幼児期は可塑性が高いが主体性が育っておらず、思春期から青春期にかけて主体性が育っていくが、可塑性はまだあるとはいえ限界があり、さらに歳をとるにつれ、可塑性はさらに低くなっていく。

問三

人間と文化の関係は、個人が主体的に選択するには限界があるが、全く固定的なわけでもなく、変わりうる要因も変わりにくい要因もあって、しかも、その要因の大小に時間的にズレがあるということ。

問四 (1)至難 (2)内奥 (3)実践 (4)念頭 (5)自在 (6)拘束 (7)離脱 (8)縛

□二

問一 (a) 空腹を満たしなさい (b) 必ず落ちるとしても

(c) 飢えを救わなければならない

問二 ① 栄西が、薬師仏像の光背を作るための材料として打ち延ばしてあった少しの銅を、自ら手にとって打ち折り束ねて丸め、貧しい訪問客に与えた。

② 貧しい訪問客に与えた仏像の光背用の銅を食べ物と交換させ、食べ物がなく餓死しそうだったその客とその家族の命を救うため。

問三 仏像の光背にするための銅を、世俗の人に与えたことは、仏に供えられた物を勝手に他に流用する仏物己用の罪に当たると考えたから。

問四 現実には餓死しそうな人々に対して、たとえ仏像(薬師仏の像)の全体を与えたとしても、その行動は仏の考えと合致しているはずだ。

問一 どうして(木)材が足りないことを憂えることがあるだろうか(いや、ない)。

問二 材、魚、穀

問三 皆其の子弟をして翁に就き(い)て学ばしむ。

問四

二子村は良田が広がり、東南には北上川が流れ、川を隔てて山丘が連なる豊かな地で、村人は農業、漁業、林業にたずさわって生業を営むばかりで、文化的には固陋な風俗であったため。(八四字)

四

問一

正規雇用や自営業・自由業は、現在と同じ雇用形態を希望する割合が高いが、非正規雇用は、希望する雇用形態の割合が、正規雇用と非正規雇用とでほぼ同じである。正規雇用を希望する理由は、「安定して長く続けられること」が多いが、非正規雇用や自営業・自由業を選ぶ理由は「自由な時間が多いこと」が多い。(一四五字)

問二

「自分のやりたいことができること」「安定して長く続けられること」「収入が多いこと」などについて、「とても重要」「まあ重要」とする割合が高い。

「社会的評価の高い仕事であること」「実力主義で偉くなれること」「特別に指示されずに、自分の責任で決められること」などについては、他の項目に比べると、「とても重要」「まあ重要」とする割合が高くない。

問三

問一・問二での資料の読み取りや資料4からは、特に現在正規雇用である者は、正規雇用として働きたいと考える者が多いこと、また安定していることや収入が多いこと等を重視する傾向が強いということ、非正規雇用者の中でも半数近くは正規雇用として働きたいと考えていること、それにも関わらず非正規雇用が増加していること、非正規雇用は賃金や雇用が不安定であることなどが分かる。非正規雇用には、自由な働き方ができるという面もあるのかもしれないが、私自身は安定した生活をして、結婚後も働きたいと考えているので、正社員として働きたいと考える。(二五六字)